

議会報告会における質疑応答等の概要

B班 ふぁみりこらぼ

(1) ロボット, AIの活用について

質問	つくば市ではロボットや AI を活用することで業務改善につながったとの新聞記事を見たが、ひたちなか市の取り組みはどのようになっているか教えてください。
回答	ロボットの活用については、残念ながら今のところありません。教育委員会では、電子黒板やタブレット端末を順次導入しております。また、ロボット等については、市役所というサービス機関において、どの様な使い方ができるか慎重に考えていきたいと思えます。
要 望	実際に取り組んでいる自治会もあるので、視察や勉強会を通して検討してください。

(2) 東海第二原発について①

質問	東海第二原発の再稼働問題についての議会の見解と福島の実況視察をしているかどうか、また、新協定書の内容について伺いたい。
回答	議会として現在行っているのは、広域避難計画の早急な策定を執行部に対して申し上げているところです。避難先としては県内 14 市町村と千葉県印旛周辺ということで進めております。どのようにそこに避難するか、原発の単独事故とは限らないため、複合災害を想定した対応の検討など難しい問題ですが、執行部でも取り組んでいるところです。再稼働については、市長の答弁などから、一定の条件が整わない限り無理ではないかと考えており、広域避難計画策定の推移を見守りたいと思えます。

(3) 議長選について

質問	前議長が辞表を提出して議長が変わったとのことで、議会に何が合ったのかとびっくりしたが、どの様なことなのか説明してください。
回答	法律では議長の任期は 4 年となっておりますが、市町村議会は 2 年で交代するというのが多くの議会で慣例となっているようです。 また、県議会では 1 年交代となっているようです。

(4) 東海第二原発について②

質問	東海第二原発の再稼働問題について、新安全協定が結ばれひたちなか市も再稼働の可否を言えるようになりましたが、議会として市民の声を聴く考えがあるかどうか伺いたい。
回答	再稼働については、まず完璧な広域避難計画ができるのかということにかかっていると現時点で思いますが、実効性のある避難計画をつくるのは本当に難しいので、その経緯をもう少し見守りたく思えます。
要 望	福島のような原発事故が起こると、私たちのふるさと、生活基盤を奪われることになるので、再稼働の判断が現実のものとなったら市民の声を聴く場をつくっていただきたい。

(5) 市民の健康について

質問	健康については、元気アップポイント事業や健診、運動など対処療法的なものだけでなく、
----	---

	根本的な原因なくす取り組みも必要ではないか。
回答	健康寿命の伸長のため本市でもいろいろな取り組みをしておりますが、その中でご自分がまず健康づくりの意識を持っていただくことが大切だと思います。また、ご意見を伺いながら調査研究して執行部に提言していきたいと考えております。
要望	自身が意識を持つのは必要であり大事であると理解していますが、直接生活や健康にかかわりながら個人ではどうにもならない裁量労働制の導入など、議会としても関心を持っていただけるようお願いします。

(6) 観光PR誌の作成について

要望	特に那珂湊市は観光資源が素晴らしい歴史のまちですが、観光PRのためJTBと協力して「るぶ」のような冊子をつくってはどうか。
----	---

(7) バイオマスの事業化について

質問	ゴミの減量化、生ごみの堆肥化に7年間取り組んできました。市との協働で進めてきたものであるのに、バイオマスの利活用の取り組みを考える協議会の設置をなぜしないのか疑問だが、どのように考えているか。
回答	環境をよくする会からの提言書提出を受けて、執行部も目を通しているはずですが、毎年2月ころ開かれていた利活用推進協議会は現在も生きているはずですが、今年は今現在開かれていないようです。民間事業者がほしいも残渣のたい肥化を大きく始めたので、成功すれば生ごみについても希望が持てると思います。
要望	バイオマスの利活用の取り組みを考える協議会の開催をお願いします。

(8) 東海第二原発について③

要望	原発事故の避難は1か月となっており、その後の保証がありません。避難計画も避難できればそれでよいというものではないと考えます。東海第二原発の再稼働については、議会としても水戸市のように全議員の賛同を得られるような緩やかな内容で市民にアピールできるよう、再稼働は難しいとの議決をお願いしたい。
----	--

(9) 緊急通報装置（ペンダント型無線発信機等）について

要望	緊急通報装置の使用回線について、NTT回線しか認められていないのはニーズに合わないのではないか。多様な回線が使用できるよう強くお願いします。
----	--

(10) 議会だよりについて

質問	議会だよりに「討論」について記載されていて、議会も丁々発止やっているなと思ったが、発言者が分からず残念に感じたので、発言者の記載を検討できないか。
回答	12月議会を掲載した第100号（平成30年1月25日号）から議会だよりをリニューアルしました。その時の検討項目に上がりませんでした。議会広報委員会の検討課題に加え

	て検討したいと思います。
--	--------------

(11) ひたち海浜公園の観光客について

質問	ひたち海浜公園には多くの観光客が訪れているが、その経済効果はどの程度あるか、また、駅周辺市街へ誘導する仕組みづくりを検討していただきたい。
回答 1	経済効果については数字を持ち合わせておりませんので回答いたしかねますが、観光交流人口を創出することが経済の活性化につながるといわれています。市街地への誘導については、そうしなければならないと思っておりますので、商工会議所なども含めて取り組みを発展充実したいと考えています。
回答 2	補足ですが、産業と観光の振興について特別委員会を設置して議論しているところですが、いただいたご意見を考慮しながら進めていければと思います。

(12) 農業政策について

質問	現在、ひたちなか市には専業農家、そして 65 歳以上の専業農家は何軒あるでしょうか。また、市内の耕作放棄地はどれくらいあるでしょうか。6 次産業をどう進めていくのかについても JA 等と協力して考えていただきたい。
回答	数字については持ち合わせておりませんが、本市では平成 26 年度から認定農業者制度があり、新規就農希望者が作成した就農計画を市が認定し、支援につなげております。なお、平成 27 年度は 1 名、平成 28 年度は 2 名を認定しています。経営が不安定な就農開始後 5 年間の所得を補償する青年就農給付金の支給などの支援もしています。

(13) 自治会の現状について①

要望 (1)	自治会の最近の状況について説明して、要望したい。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化や近所付き合いの希薄化、共働きなど働き方の多様化から、近所での助けあい支えあいが難しくなっている。</li> <li>・高齢化が著しい組では組長のなり手がなく、組としての活動が困難になっている。</li> <li>・コミ組織でも危機感を持って議論しているが、具体的対応はこれから。</li> </ul>
-----------	--

(14) 自治会の現状について②

要望 (2)	いずれにしても、高齢化により従来の自治組織の存続が危うくなってきたという現状があります。また、新聞で自治会肯定論と否定論が報道されるなどして危機を増幅しています。こうした現状を踏まえ、議員の皆さんには、自治会の役割や意義を幅広く PR していただきたいと思えます。
-----------	--

(15) 東海第二原発について

質問	最初の質問でお答えいただけなかった、議会として福島の実地視察をしているか伺います。
----	---

回答	議会としては現地視察をしておりませんが、議員個人ではほとんどの議員が現地に行っていると思います。議会としての対応は検討したいと思います。現在行っているのは、広域避難計画の早急な策定を執行部に対して申し上げているところです。
----	---